

令和2年度寄付者の皆さま



- | | |
|-------------------|----------------------------------|
| 岡田 旬佑 様、岡田 弘子 様 | 株式会社ジェイコム東京すみだ台東局 様 |
| 佐藤 重雄 様 | 株式会社フクシ・エンタープライズ 様 |
| 藤代 國忠 様 | 公益社団法人本所法人会 様 |
| アサヒ飲料販売株式会社 様 | マークフロントタワー曳舟管理組合 様 |
| 株式会社カスミ 様 | 特定非営利活動法人 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊 様 |
| 社会福祉法人賛育会 東京清風園 様 | 外 匿名 2名 様、8団体 様 |

助成を受けた団体からの「ありがとう」メッセージ

3年間 ご支援頂き本当に
ありがとうございます!!

本日の「すみだ」イベントは、すみだの力
（すみだの力）支援基金のおかげで、昨年初め
のコロナ禍において活動を継続し、希望を
暮らしてこられた。これから地域のみなさんと共に
活動していきたい。SSJのみなさん、ご支援
ありがとうございます。

この地域に住んでいる住んでいる人、
多くの方が愛着を持って、ここに20年か
土着した。オンラインを通じて地元の
海外に住む、元住人の再会や、ホライ
なけい会えながら人との出会いには
大きな可能性を感じました。
ご支援いただき、感謝いたします。
京島長屋文化連絡会一同

去年から引き続き「すみだ 向島の風景」を
テーマに活き活きとした機会を作らせていただきました。
新たに引越して来た人、昔から住んでいる人
興味がある人に話してもらい、向島での
暮らしや住むの魅力を聞くことが
できました。これから更に活動を展開していきたい
と思います。エキスポごさいました!!
2020実行委員会

おかげさまで、これまでにならぬ
規模での動画制作ができました。
たくさんの方々に動画の
メッセージをお伝えすることが
できました。

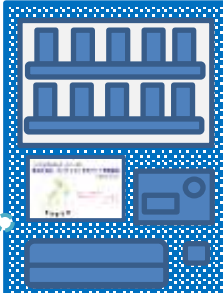
感謝

錦糸公園ものまねプロ野球運営委員会

この度は、多額のご支援を
頂きまして、「ありがとう」ごさいました。
お陰様で、単後大会を運営しました
本年も、当時大変な思いをいたしました
16名の皆様には、インタビューのご協力を
頂きまして、DVDに活かす事が出来まして
スミダ595P 多田井利店

区役所2階(リバーサイドホール前)をはじめ、施設や公園などの
区内各所に設置されている「寄付機能付き自動販売機」で飲み物
を買った、売上げの一部が「すみだの力応援基金」へ寄付されます。

協力:アサヒ飲料販売株式会社

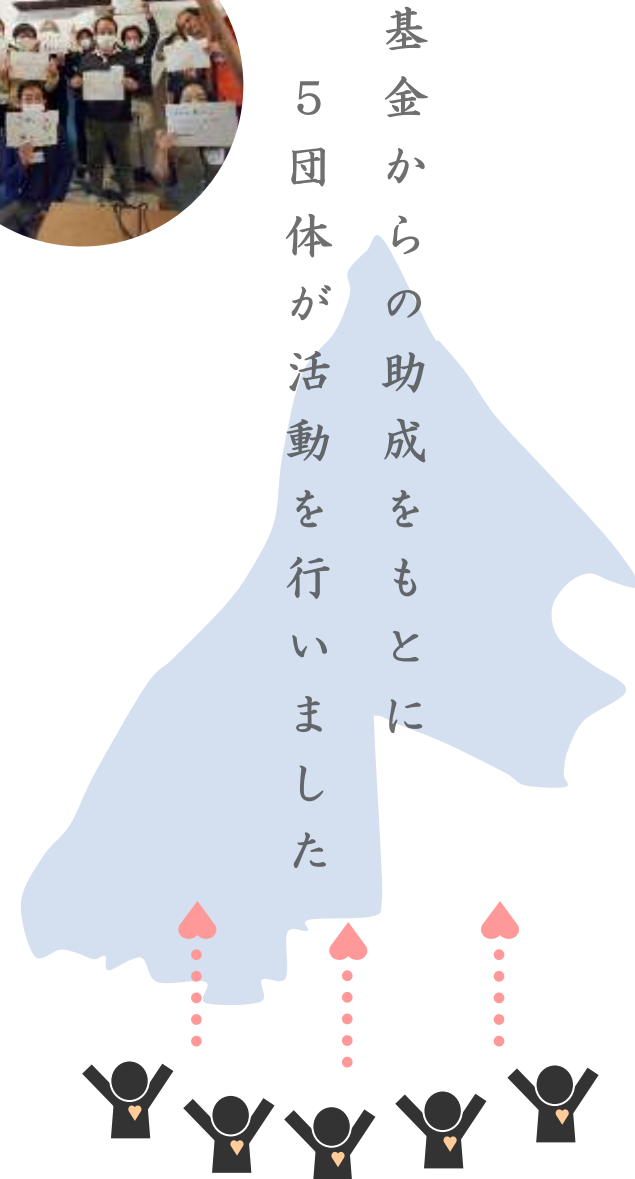


令和2年度

ちから

すみだの力 応援基金活動レポート

(墨田区協治(ガバナンス)まちづくり推進基金)



<令和2年度 寄付状況>

6名 + 16 団体(延べ175件)の皆さまから、

1,525,016円

のご寄付をいただきました。

【発行】 墨田区 地域力支援部 地域活動推進課 まなび担当 (区庁舎14階)

電話: 03-5608-6202 FAX: 03-5608-6934

Eメール: KATSUDOSUISHIN@city.sumida.lg.jp

令和2年度は、5事業に 合計 2,039,000円を助成！ 皆さまからの「応援」により、 地域をもっと元気にするさまざまな活動が行われました！



＜基金からの助成事業 「すみだの力応援助成事業」のしくみ＞

「地域や社会のために何らかのかたちで貢献したい」という皆さんからの思いを寄付としてお受けし、「すみだの力応援基金」に積み立てます。そして、地域の課題解決を目指したまちづくり活動を、助成事業として区民の皆さんから募集し、この基金をもとに資金面から支援します。



第3回すみだストリートジャズフェスティバル in ひきふね ON LINE

墨田区北部曳舟エリアで、企画から開催までボランティアとして、誰もが参加可能なジャズフェスティバルを開催しました。第3回目となった今回は、感染症対策のためオンラインで実施、曳舟文化センターを配信会場として、生配信に挑戦しました。

＜成果＞コロナ禍において、配信に挑戦すること自体が、地域の方々の希望になっていました。当日の生配信の中では、地域の街並みや飲食店の紹介を行ったことにより、地域の方とのつながりが生まれてだけでなく、配信を見た曳舟地域を知らない方からも興味を持っていただくことができました。

SSJF 曳舟まちかど実行委員会

助成額: 500,000円



オンライン関係住人ツーリズム事業

京島エリアを中心とした、オンライン観光ツアーを実施しました。ガイドはカメラを持って実際に街を歩き、参加者はガイドとの会話を楽しむこともできます。どこにいてもリアルな地域の魅力を体験できる、また、参加者も地域の関係者として入っていけるツアーです。

＜成果＞オンラインツアーを通じて、コロナの影響で普段の人付き合いが減っていた地域の人と、地域に興味を持っている人との出会いの場を創出することができました。また、地域のネットワークを築くきっかけをつくることにもつながられました。

京島長屋文化連絡会

助成額: 400,000円



まちの人とすみだ向島の風景を考える事業

まちの人と一緒に、座談会形式で話し合うトークカフェ、まちの風景について考えるワークショップ、シンポジウムを開催しました。事業内容をまとめた冊子も作成し、どのような意見交換が行われたのか、多くの方に見ていただけるようにしました。

＜成果＞すみだでの暮らしについて、年齢や職業を問わず、様々な人と意見交換できました。また、残していきたいまちのイメージを共有し、映像にまとめたことで、地域資源を具現化することもできました。今後も継続的に対話の機会を設け、具体的な活動につなげていきたいです。

すみだ向島 EXPO 2020 実行委員会

助成額: 400,000円



錦糸公園ものまねプロ野球コロナ第2波対策プロジェクト

感染症対策として、注意喚起を促す動画を作成しました。プロ野球選手のそっくりさん達が出演する親しみやすい動画にまとめ、YouTube等の動画サイトに掲載しました。また、月に2~4回、墨田区民チームとの交流試合も実施しました。

＜成果＞動画公開初日には、TikTok 上で 20 万再生を記録しました。感染が再拡大してきたタイミングで動画を再投稿するなど、継続的な啓発を行ったことで、より多くの人への注意喚起ができました。また、交流試合によって、地域とのつながりも深めることができました。

錦糸公園ものまねプロ野球運営役員会

助成額: 260,000円



後世に伝えるための戦後 75 年事業—戦中戦後の暮らしの工夫・知恵—

第二次世界大戦での空襲経験や戦後の暮らしについて、16名の方にインタビューを行い、その様子をDVDに収めました。区主催の27万人の平和メッセージ(平和祈念プログラム)の一環として、作成したDVDの上映会も実施しました。

＜成果＞戦争経験者の貴重な声を後世に伝えられる、また、平和について考えるきっかけとなるものことができました。上映会には約180名の方に参加いただきました。今後も、上映会を主催してくださる方を募集するなど、活動を継続していきます。

スミダ SGEP

助成額: 479,000円

